

那加三だより

那加第三小学校
学校だより
R4. 2. 24



学校の教育目標 「かしこく ゆたかに たくましく」

←学校ホームページで、子ども達の姿をご覧ください<http://edu-kakamigahara.com/naka3sho/>

新たな伝統づくりに向かって

この1年間、那加三小では、廊下の床を子どもたちがみがく姿が増えてきました。掃除の時間の取組としてしているのですが、子どもたちがみがいた床は、どんどんきれいになって、学校の雰囲気を明るくしてくれています。



2月のオンラインによる全校朝会では、「学校の床がきれいなのは、なぜ？」と題して、廊下の床がきれいになっているその秘密について話題にしました。床をきれいにしてくれた代表として、廊下掃除の6年生の皆さんに来てもらって、掃除の仕方や、掃除の大変さ、掃除のときの気持ち、きれいだねと言われた時のことを聞いてみました。

「クレンザーを床にまいて、スポンジでこすってきれいにしました。」

「きれいにするのは大変だったけど、床がきれいになってよかった。」

「学校がきれいになると気持ちよくなるから、少しでもきれいにしようがんばっています。」

「6年間学校に通ってきて、自分でできるだけきれいにしようという気持ちでがんばりました。」

「全員が使う廊下がきれいになると、通る人も気持ちよくなると思いがんばりました。」

「きれいと言われると、自分が頑張ったことが伝わってうれしいです。」

「今までがんばったかいがあったなと思えてうれしいです。」

「自分がきれいにしたところなので、うれしいなあと思いました。」

この言葉を聞いたあと、「(掃除時間なので掃除をする)、それだけではなく、よごれているから、そこをきれいにしたい、そんな気持ちで床がきれいになっていることが分かりましたね。全校のみなさんも、学校がきれいになると気持ちがいい、そんな心で学校をきれいにしましょう。」そう話しました。

【学校の床の汚れと向き合い、自分たちできれいにしていこうとする】、新たな伝統づくりが始まったことを感じています。そして今、6年生の皆さんが卒業に向けての活動「朝の全員掃除」として、床掃除の取組を始めようとしています。きっと、那加三小なら「学校がきれいになると気持ちがよくなる」この思いが、全校中に広がると信じています。

(文責 校長 加藤浩幸)